

デイサービスセンター

在宅での要支援者、要介護者に対し可能な限り慣れ親しんだ地域で生き生きと生活が出来るよう支援していきます。また社会福祉法人として地域共生社会の場の提供を行えるよう取り組み、コロナ禍における社会状況を加味しながら地域交流も図っていきます。

1. 利用者・家族への援助

- (1) 利用者及び家族等のニーズを的確に把握し、利用者の人格を尊重した援助を行い、家族等の身体的・精神的な負担の軽減を図ります。
- (2) 利用者個々のニーズに耳を傾け地域から必要とされるデイサービスを目指します。
- (3) 各居宅介護支援事業所への宣伝としてパンフレットの作成と受け入れ状況表の提供をし、利用状況を把握してもらえる様に定期的な訪問でアプローチしていきます。
- (4) サービスを提供する関係職種が情報を共有し、連携を密にしていく事で、ケアプランに基づく継続したサービスが提供されるように支援していきます。
- (5) 利用者が住み慣れた地域、生活環境において可能な限り在宅での生活が継続していける様、個々に必要な機能訓練及び日常生活の支援を行っていきます。
- (6) 利用者の社会的孤立感の解消と心身機能の維持を図っていきます。
- (7) 継続可能な支援や新たな取り組みを行う中で、サービスの評価と改善を繰り返すことで利用者の生活の質や意欲の向上を図っていきます。

2. 福祉職員としての資質向上

- (1) 利用者等に対して「真心」「思いやり」「気配り」の心を持った介護と接遇に努めます。
- (2) 職員各自が専門職としての責任感やプロ意識の向上を目指すとともに適切な行務に取り組みます。
- (3) 内部研修や外部研修にも参加し、知識や技術の習得を図っていきます。また、研修への参加機会を十分に確保できるように配慮した職場環境作りに努めます。
- (4) 連帯感を大切に、成功事例や苦情は全職員が真摯に受け止め、サービスの質の向上に活かしていきます。

3. リスクマネジメントへの取り組み

- (1) 問題点や苦情に対しては迅速に対策を講じ職員への周知と改善を図ります。
- (2) カンファレンスで考案した対策により重大事故の未然防止に繋がっていきます。
- (3) 職員全体で情報の共有が出来る組織作りに務めます。